

中産連の月刊マネジメント専門誌

プロGRESS

CHU-SAN-REN MANAGEMENT MAGAZINE

# PROGRESS

2022/12

第860号 令和4年12月1日（毎月1回）発行

一般社団法人 中部産業連盟  
中産連

特集

2023年景況予測と企業動向調査  
—中産連役員46氏の予測—（中産連役員アンケート集計結果より）



提供：名城大学

史上初の全日本女子駅伝6連覇を達成（学校法人名城大学／詳細は次頁）

# 潮流



株式会社柴田工業は2006年愛知県名古屋市中創業し(2012年株式会社化)、公共事業を中心に、累計3500件を超える耐震補強工事を行って参りました。柴田工業が耐震補強を手掛けさせていただいた施設は、大学・高等学校・小中学校等の教育施設や病院等の医療施設等、多くの方々日々利用されているので、スクラップアンドビルドの様に、一時的に利用を止める選択が難しく、みなさまにご利用いただきながら耐震性能を高めて参りました。

## 屋根から地球に優しい エネルギーを創る

株式会社柴田工業

代表取締役

柴田 薫

私はまた、耐震補強工事は、既存の建物の健康長寿命化を図り、廃棄物や温室効果ガス排出を大幅に削減することにより、環境面での持続可能性を高めることができるという誇りをもって取り組んでおりました。

そのような中、2011年痛ましい東日本大震災が発生し、避難所でご家族の安否を確認するため、携帯電話の充電の列に並ぶ方々の姿、余震が続く中、明かりの無い真つ暗な避難所で不安な夜を過ごさなければならぬ方々の姿を目の当

たりにし、避難所となる公共施設が構造上堅強であるだけではないけない、被災された方々がたいへんな思いをしている中で非常用電源があれば、少しでも早く大切な方々と連絡が取れ、明かりがあれば、不安な思いを少しでも軽減することができると考えました。そこで2012年に太陽光発電設備設置事業を開始し、多くの方々の応援やご協力をいただき、2014年から名古屋市の小中学校の屋上に太陽光発電設備を設置する取り組みを開始しました。今では名古屋市他、大阪府、大

阪市、愛西市、みよし市、藤枝市、みよま市、都城市、延岡市、海都市、橋本市等、全国500校以上の小中学校の屋上に太陽光発電設備の設置が完了しています。

2012年に始まった固定買取価格制度により日本全国には多くの太陽光発電所が開発されましたが、日本は平地が少なく、山地を切り開いて開発された太陽光発電所も多く存在します。私は収益性が高いとはいえず、再生可能エネルギーである太陽光発電設備を敷設するために山を切り開くことは本末転倒であるため、

一貫して建物の屋根・屋上から地球に優しいエネルギーを創ることに取り組んで参りました。

日本は2020年10月、当時の菅総理のカーボンニュートラル宣言により、大きく脱炭素への動きが加速し、多くの企業様が使用する電源の脱炭素化を図るために、自社社屋や工場の屋根・屋上に太陽光発電設備を設置されております。「屋根から地球に優しいエネルギーを」掲げる当社にとって非常に嬉しく感じております。当社は2012年より屋根・屋上に太陽光発電設備の設置を進める中でさまざまな失敗を経験し、それらを克服する度に技術・ノウハウを蓄積して参りました。建物の屋根・屋上に太陽光発電設備を設置する場合、台風や施工上の不具合により落下、飛散すると事故に繋がるため、建物の構造や耐風荷重、防水等の知識・経験が必要になります。当社の経験やノウハウが少しでも安全な再生可能エネルギーの導入に貢献する事が出来ればと願っております。

すでに地球的規模で影響が起きている気候変動を少しでも遅らせて、次の、そのまた次の世代の子供達が安心して学校に通える社会を実現するため、柴田工業はこれからも屋根から地球に優しいエネルギーを創り続けます。

みなさまには、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。